

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立大浦小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立大浦小学校 1年生40名、2年生37名、3年生30名、4年生28名、 5年生33名、6年生34名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間、体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピックに向けた努力や工夫について話を伺うことにより、より高い目標を立て、困難があってもくじけず努力する態度を育てる。 (2) 実技披露や実技指導を受けることにより、走ることの楽しさを味わい、スポーツを楽しむ心を育む。
5 取組内容	1 事前指導 ロンドンオリンピック4×100mリレー出場選手の江里口匡史選手を講師としてお招きし、オリンピックの経験等についてお話しいただいたり、一緒に運動したりすることを伝える。 2 江里口選手講演会 (1) 講演会 講演会では、「オリンピック『夢』『パワー』チャレンジ」と題し、ロンドンオリンピックでの競技の様子や選手村、閉会式の様子など、オリンピック全体についてまずお話しいただいた。 次に、子どもの頃の運動体験や、オリンピックを目指すきっかけ、目標を持って努力することの大切さ、についてもお話しいただいた。 少年期に明確な目標があれば頑張れるし、夢はかなうというメッセージをいただいた。



3 ぶれあい会食

6年生と一緒に、昼食をとってもらった。児童からも積極的に話しかけ、江里口選手に親しみの気持ちを持つことができた。



4 実技指導

(1) 実技披露

午後は運動場で児童とぶれあっていただいた。まずは50M走で実際に走りを見せていただき、子どもたちはあまりの速さに歓声を上げていた。



(2) 実技指導

全校生を対象に、走りの基礎技能の指導をしていただいた。低学年にも分かりやすい教え方で、姿勢の取り方や足の上げ方などを教わった。子どもたちはとても楽しそうに汗をかきながら指導を受けていた。教師にとっても、指導方法が参考になった。



(3) エキシビジョンマッチ

最後に、6年生代表児童と、校庭1周のエキシビジョンマッチを行い、全校で大いに盛り上がった。記念撮影にも気軽に応じていただけた。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロンドンオリンピック4×100mリレー出場選手の江里口匡史選手の講演から、たとえ専門的な教育を受けていなくても、明確な目標を持って努力することの大切さについて学んだ。 このことは、本校の教育目標具現化のための合い言葉である「夢」「パワー」「チャレンジ」につながる内容であり、児童はその思いを一層自覚することができた。 ○ オリンピックでのエピソードを聞いたり、実際の走りを見たりしたことにより、来たる2020年東京オリンピックに対する興味・関心を持たせることができた。 ○ 実技指導を受けたことにより、「持久走記録会に教わったことを生かしたい。」といった感想が多く聞かれるなど、日常生活に結びつけて目標を立てたり、スポーツに親しむ心が育まれたりした。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演者との事前の打ち合わせを通じて、講演の内容や実技指導の内容について詳しく確認できた。その結果、本校の教育方針にあった内容の講演、指導とすることができた。 ○ 児童との会食や実技披露、エキシビジョンマッチなど様々な活動を行うことにより、児童の興味関心がより高まり、効果的な活動とすることができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選手に来ていただくことは大変意義あることだが、活動が単発になってしまわないよう、子どもたちに生まれた機運を継続させるための手立てが必要である。 ○ 地域住民等への情報発信などの方法について検討が必要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の成果を生かし、オリンピック・パラリンピック教育の考え方を年間の指導に取り入れていきたい。